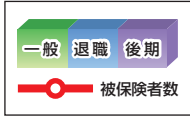
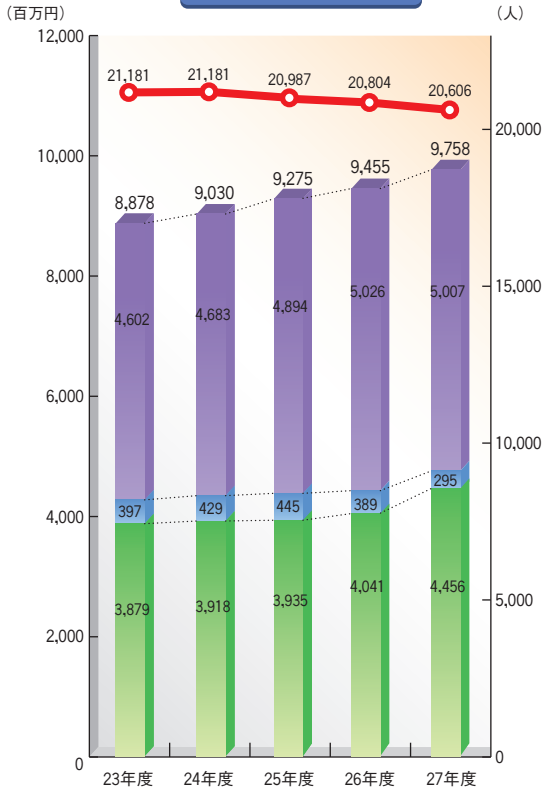


下野市

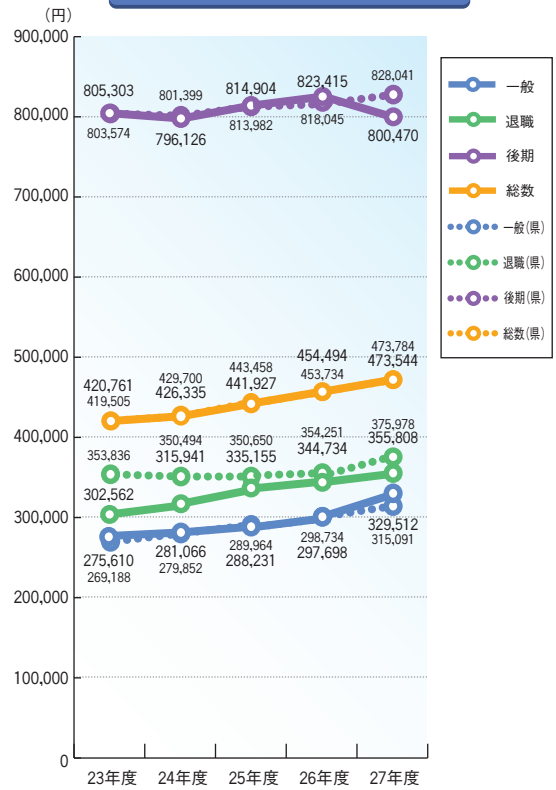
# 下野市



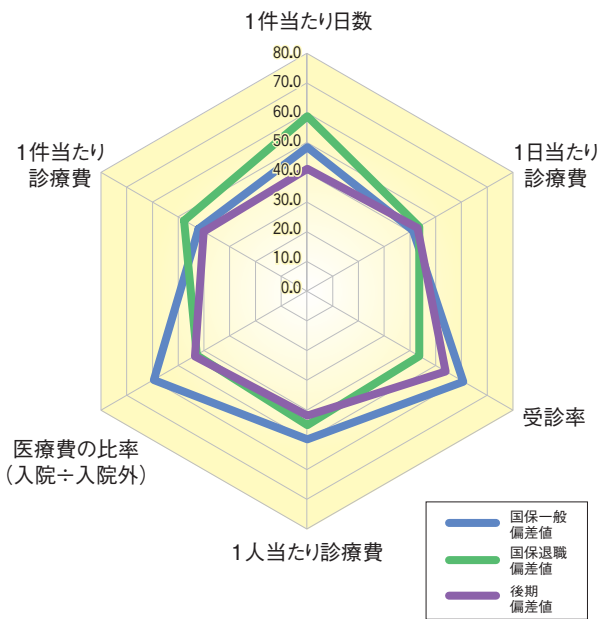
## 医療費の推移



## 1人当たり医療費の推移

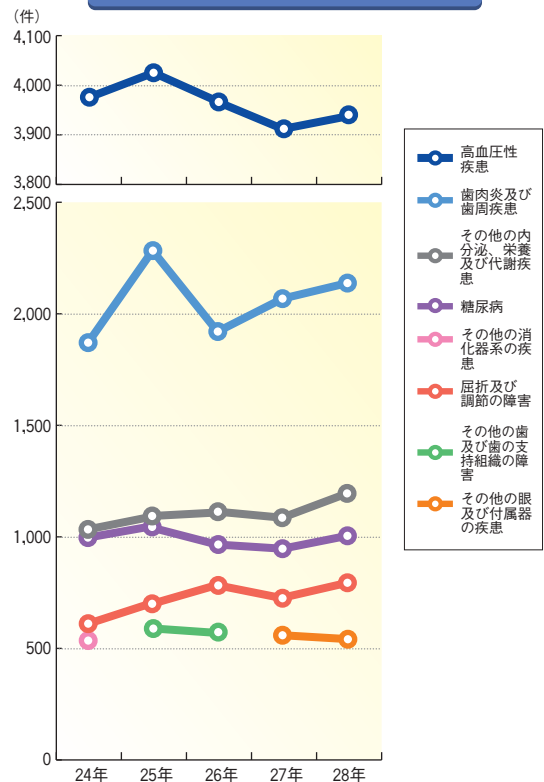


## 平成27年度 3要素と医療費諸費 (県平均との比較)

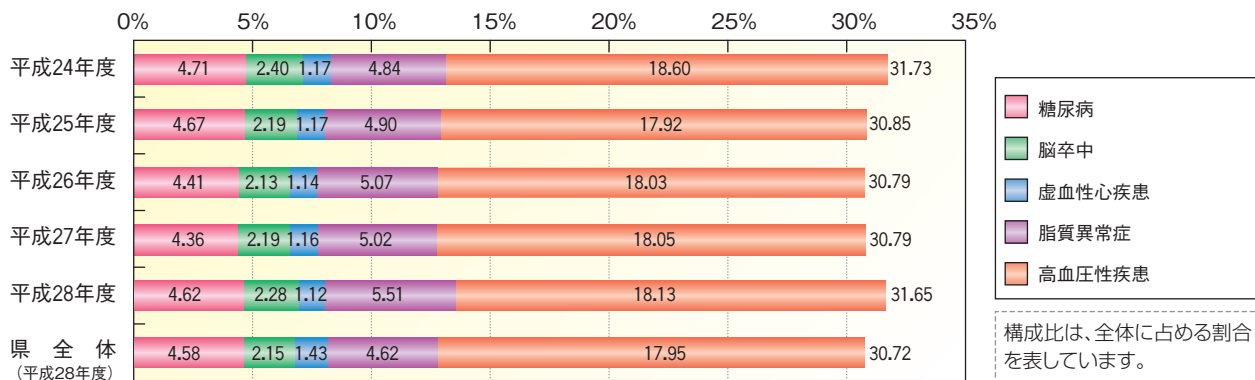


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

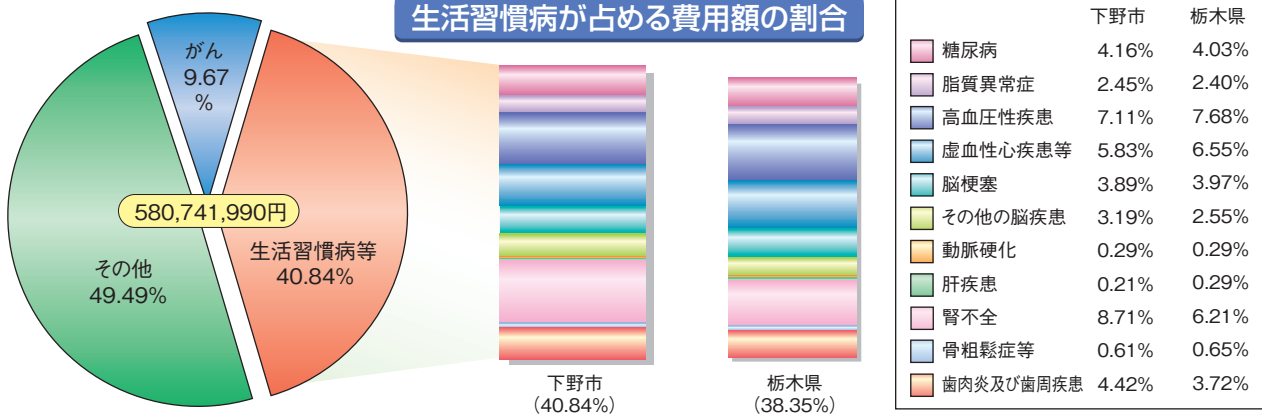
## 多受診疾病上位6位の推移



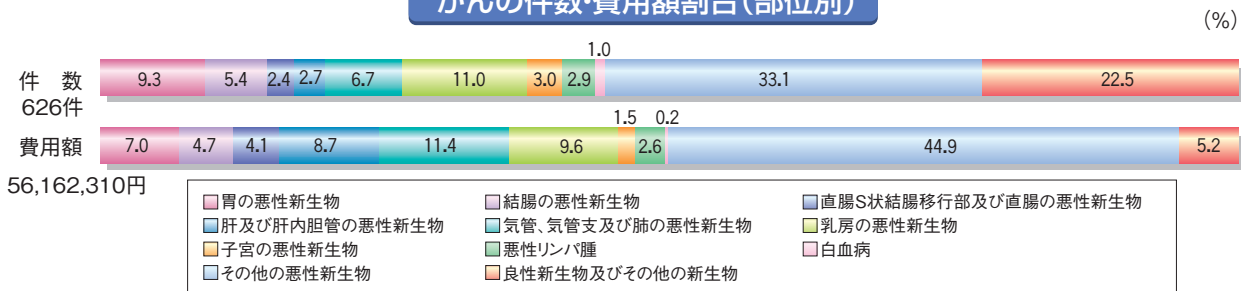
### 生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



### 生活習慣病が占める費用額の割合



### がんの件数・費用額割合(部位別)



### 下野市の状況

#### ★医療費の状況及び被保険者数

平成27年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般4,455,659千円(110.3%)、退職294,609千円(75.8%)、後期5,007,338千円(99.6%)で、全体では9,757,605千円(103.2%)と増加している。( )は前年度との比較。

平成27年度平均被保険者数は20,606人で、内訳は一般13,522人、退職828人、後期6,256人である。前年度と比較すると全体で99.0%と減少している。

また、平成27年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は473,544円(19,050円増)、一般は329,512円(31,814円増)、退職は355,808円(11,074円増)、後期は800,470円(22,945円減)である。( )は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、1日当たりの診療費、1人当たりの診療費、1件当たりの診療費は、全ての法別において県平均を下回る低い偏差値となっており、受診率は一般と後期で高い偏差値となっている。

#### ★疾病の状況

平成28年5月診療分で件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、4位糖尿病、5位屈折及び調節の障害、6位その他の眼及び付属器の疾患で、過去5年上位5疾病に変動はなく、件数及び費用額についても特に大きな変動はない。

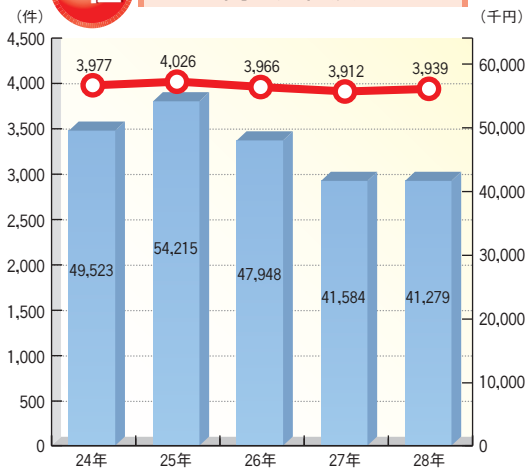
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、虚血性心疾患を除く4疾病で県全体よりも高い構成値となっており、特に脂質異常症は過去5年で最も高い構成値となっている。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成28年5月診療分の総費用額が580,741,990円で、がんが9.67%、生活習慣病関連が40.84%を占めている(県全体 がん12.31%、生活習慣病関連38.35%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患7.11%、腎不全8.71%、虚血性心疾患等5.83%となっている。

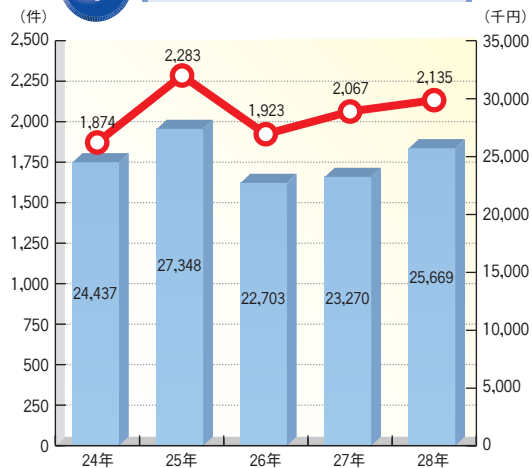
がんの部位別の件数及び費用額の割合は、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、乳房の悪性新生物、胃の悪性新生物、費用額では、気管・気管支及び肺の悪性新生物、乳房の悪性新生物が高い割合となっている。

# 多受診疾病 上位6の年次推移

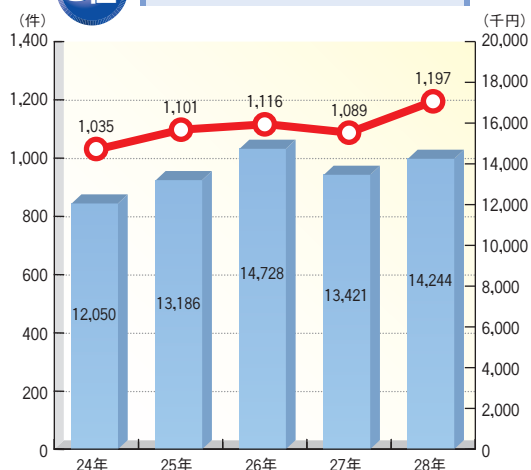
## 1位 高血圧性疾患



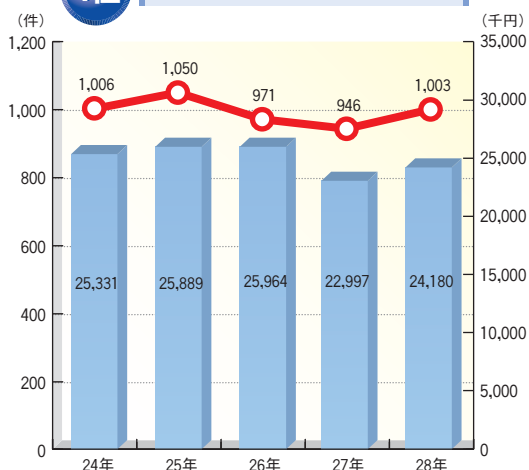
## 2位 歯肉炎及び歯周疾患



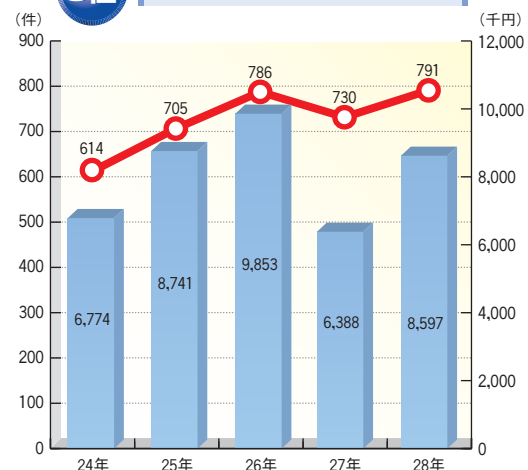
## 3位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



## 4位 糖尿病



## 5位 屈折及び調節の障害



## 6位 その他の眼及び付属器の疾患

